

第106回福島県災害対策本部会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

- 1 日 時：平成23年4月25日（月） 10：20～10：43
- 2 場 所：災害対策本部・自治会館303会議室
- 3 内 容：

（1）最新の被害状況について

事務局：第128報により説明

- ・ 避難の状況については、二次避難は202名増。
- ・ 被害の状況については、変動なし。
- ・ 東北新幹線 福島～仙台本日再開。

（2）モニタリング結果について

生活環境部次長（県民安全担当）：別紙資料により説明

- ・ いずれの地点も概ね横ばい又は減少傾向。

（3）「福島県被災者情報集約・双葉郡支援センター」稼働状況について

文化・スポーツ局長：別紙資料により説明

- ・ 避難者登録受付状況について、4/24は1,071件、累計で15,208件。
- ・ 避難所入居者問い合わせ状況については、4/24は3件の問い合わせがあり、うち情報提供は2件、累計1,043件。

（4）緊急被ばくスクリーニングの活動状況について、緊急被ばくスクリーニングについて

保健福祉部長：別紙資料により説明

- ・ 4/23は1,120人であり、10万cpm以上の人は無し。累計で170,994人。
- ・ 本日、県内10箇所を実施する。

（5）「放射線に関する問い合わせ窓口」の利用状況について

企画調整部次長：別紙資料により説明

- ・ 相談件数は199件（前日△12件）。
- ・ 主な問い合わせは連日だいたい同じ傾向。
- ・ 学校関係については、福島市、郡山市は他の地域より比較的高い数値であることからその地域の子供がいる世帯には線量計を配布してほしい、あるいは線量計の購入補助をしてほしいとの要望があった。また学校における計測を継続して実施してほしいとの要望があった。
- ・ 日常生活については、洗濯物、外遊び、草むしり等についての問い合わせがあり基本的に問題なしと回答している。

- ・ 測定検査関係について、放射線量の積算値を公表してほしいとの要望が多い。また県内で実施しているメッシュ調査については町内会単位で調査を追加してほしいとの要望があった。
- ・ 線量計について貸して欲しいとの要望については、個人については貸し出しは行っていない、法人には貸し出ししている財団を紹介している。
- ・ 健康の影響については、母乳の調査を国や県で実施してほしいとの要望があった。
- ・ インターネットを使わない県民にも正確な情報をわかりやすくタイムリーに出して欲しいとの要望も多く来ている。
- ・ 風評被害関係については、60代の女性から岩手と東京に避難している娘家族が放射能がうつると言われていじめられている。東京に電力を供給している福島県に対してあまりにも酷い仕打ちなので東京・岩手に抗議してほしいとの泣きながらの相談があった。

(6)「農林水産業に関する相談窓口」の利用状況について

農林水産部長：別紙資料により説明

- ・ 件数57件（前日△7件）
- ・ 営農について、計画的避難区域の稲の作付け制限を受けている事業者の方から水稻は1年休むと翌年の水保ちが悪くなる。翌年の作付けの時きっちりした対応を考えてほしいとの要望があった。
- ・ 南会津の生産者より野菜の品目それぞれごとに放射能の検査済証の発行をお願いしたいとの要望があった。また現在福島ナンバーだが会津に替えるよう言われたがその費用をどうすればよいかとの問い合わせがあった。
- ・ 出荷・流通については、分析体制を充実してほしいとの要望があった。また原木露地物のしいたけを出荷制限のないところで生産しているが、風評で出荷を止められている。なにか情報はあるかとの問い合わせがあった。
- ・ 家庭菜園については、山菜やたけのこについてモニタリングはやるのかとの問い合わせがあった。

知事：

- ・ 今の報告について、直轄理事の方で（いじめなどの）偏見の風評、農産物の福島ナンバーの話や工業製品などの風評について、それぞれの部局の中でどのような事象・事例があるかまとめるように。いろいろな風評について対応を検討しなければならない。

直轄理事：

- ・ 全体的な状況の整理を検討したい。

(7)「被災地及び避難所に対する主な医療班活動」、「心のケアチーム活動状況」について

保健福祉部長：別紙資料により説明

- ・ 被災地及び避難所に対する主な医療班活動について（先週の状況）、各県からの協力により、常駐、巡回併せて計35班の活動をしていただいている。また資料にはないが、保健師のチーム、県内県外併せて約40チーム、112人活動していただいている。
- ・ 心のケアチーム活動状況については各県からの応援を含めて15チームが現在活動中。これからの予定も中程に記入有り。

松本副知事：

- ・ 改めて各県の協力について感謝申し上げる。

(8)「放射線測定講習会開催のご案内」について

商工労働部長：別紙資料により説明

- ・ 工業製品の測定については現在ハイテクプラザ（郡山、いわき）で4月より測定している。本日からいわき市の環境監視センターで市独自で行う。
- ・ 講習会については今後自社内で測定を行うあるいは測定を検討している企業に対して的確な放射線管理を支援するため、講習会の案内を出した。先週金曜日に出したところ、すでに定員に達した。そのため、第3回以降も順次実施する予定。
- ・ 放射線測定器をお持ちでない県内の中小企業及び自治体に貸し出しを行う。明日からできるよう手配している。貸出場所は各地方振興局で2泊3日まで実施する。ハイテクプラザに持ち込めないような大きな物や重い物については貸し出しを利用してほしい。技術的なことについては講習会で対応する。

松本副知事：

- ・ 需要が大きいので最大フル稼働できるように効率的な運用をしてほしい。
- ・ 本日よりメンバーには全員「がんばろうふくしま」のバッチをつけている。どこに配る予定なのか？

直轄理事：

- ・ 今日2,000個なので出先には配れていないが、県は全員配布予定。マスコミのみなさんも賛同いただければお配りしたい。

松本副知事：

- ・ ぜひご活用をよろしくお願いしたい。
- ・ 対策本部会議は、これ以上原発の状況が悪化しないことを条件に1日1回にしたい。時間は午前中を考えているが別途調整する。緊急時、また緊急に会議で決定する事項があれば臨時招集を行う。本部会議の後の情報伝達については広報班を通じて提供する。

知事：

- ・ 連日本当にご苦労様です。本日43日目で皆様のご努力に感謝を申し上げる。振り返ると、毎日新しい局面になっている。今日も様々な報告があったが、実害、風評など多岐に渡っている。日本、世界で初めての原子力災害対策会議をやっていると認識している。「がんばろうふくしま」のバッチの配布があったが、気持ちを一つにしたい。一刻も早い収束を願いつつ更なる協力をお願いしながら本日また決意をよろしくをお願いしたい。